

午前 11時53分 休憩

午後 1時00分 再開

○小関勝助議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

なお、堀越俊一郎監査委員から早退させてほしい旨の申し出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

それでは、各委員会からの審査の報告を続行いたします。

予算特別委員会審査報告

○小関勝助議長 次に、予算特別委員会の審査の報告を求めます。

蒲生光男予算特別委員長。

(蒲生光男予算特別委員長登壇)

○蒲生光男予算特別委員長 平成27年第2回市議会定例会において予算特別委員会に付託になりました議案第2号 平成27年度長井市一般会計予算を初め特別会計予算9件、水道事業会計予算1件の平成27年度予算案11件について、審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

予算特別委員会は、会議日程に従い、3月13日、17日の2日間にわたり審査が行われたところであります。

審査に当たっては、各会計予算の概要について担当課長から説明を受けた後、4名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査を行ったところであります。その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会であり、後刻会議録によりご承知くださいますようお願い申し上げます。審査の結果のみをご報告申し

上げます。

まず、議案第2号 平成27年度長井市一般会計予算及び議案第3号 平成27年度長井市国民健康保険特別会計予算の2件につきましては、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第4号 平成27年度長井市公共下水道事業特別会計予算、議案第5号 平成27年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算、議案第6号 平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計予算、議案第7号 平成27年度長井市訪問看護事業特別会計予算、議案第8号 平成27年度長井市介護保険特別会計予算、議案第9号 平成27年度長井市浄化槽事業特別会計予算、議案第10号 平成27年度長井市後期高齢者医療特別会計予算、議案第11号 平成27年度長井市宅地開発事業特別会計予算及び議案第12号 平成27年度長井市水道事業会計予算の9件につきましては、全員一致で可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位から出されました質疑、意見等については十分に意を用いられ事務の執行に当たられるよう申し上げ、予算特別委員会の審査報告を終わります。

○小関勝助議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関勝助議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

まず、日程第36、議案第2号 平成27年度長井市一般会計予算の1件について、討論の通告がありますので、順次発言を許可いたします。

初めに、議席番号4番、今泉春江議員。

(4番今泉春江議員登壇)

○4番 今泉春江議員 共産党の今泉春江でございます。議案第2号 平成27年度長井市一般会計予算に反対する立場から意見を述べます。

この予算には、観光交流センター、かわと道の駅用地買収費や建設にかかわる予算が組み込まれています。また、このたび用地買収費の増額や資材高騰分、消費税増税分などによる1億8,000万円に上る当初の計画から想定外の増額が示されました。

私は議会が始まってからも観光交流センター、かわと道の駅のこのたびの予算増額について数百人の市民の声を聞きましたが、まず返ってくるのは、道の駅で長井市が活性化するのか、莫大なお金をかけて成功するのか、今回も建設費が予定を上回っているが、今後ますますふえ、その負担が市民に来るのではないか、予定以上の予算増額について、市長と副市長が減給で責任をとったぐらいでは済まされない、道の駅でなく観光交流センターというそうだが、一体観光交流センターとはどういうものなのかなど疑問とやめるべきという意見が全部でした。そして、そんな金があるならもっと身近なところ、国保税の引き下げ、福祉施設などに使ってもらいたいという切実な声が返ってきます。

私は議員として市民の声を市政に反映する役割を担っています。この予算に反対する理由は、第1に、この予算は市民のこうした声に反するものだということです。第2に、この計画がうまくいく見通しが見出せないことです。第3に、市民も心配するように建設費がさらにふえ、市財政を圧迫し、市民の負担増になることが予想されるからです。第4に、このような観光交流センター、道の駅ではなく市民が切実に願っていることの実現にこそ力を入れ、市を活性化すべきと思うからです。

なお、私の予算総括質疑で道の駅、観光交流センターの雇用と経済効果について、市長が数百人、1,000人単位を目指すことを答弁したことを指摘しましたが、この目標は観光交流センターだけの目標ではなく、都市再生整備事業計画全体の目標として市長が述べたものであることを

認め、訂正いたします。

以上をもって平成27年度長井市一般会計予算に反対する意見とします。

○小関勝助議長 次に、議席番号13番、渋谷佐輔議員。

(13番渋谷佐輔議員登壇)

○13番 渋谷佐輔議員 私は、今定例会において提案されました平成27年度予算に対して賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

今年度予算は歳入歳出総額132億5,000万円余りと昨年度予算に対し11.5%の伸びを示しておりますが、特殊要因もあり、実質1.5%とされています。長井市は自主財源である市税が24%と極めて低く、交付金や国、県の支出金が50%を超える極めて依存度の高い自治体であることを深く認識し、引き続き緊張感を持って持続可能な自治体経営を求めるものであります。

本予算について、私は2つの視点で考察してみました。

一つは、人口の減少傾向がどこまで続のかはかり知れません。いかに食いとめることができるのかが施策と予算であります。

もう一つは、市民の手によってつくられた第5次総合計画が昨年からはスタートしております。5年後、10年後の姿を期待外れのものにすることは許されません。着実に進行させなければなりません。そういう意味で、是とする事業、予算はたくさんありますが、中でも将来を担う子育て支援に関する予算に配慮が見られたこと、地域防災を担う消防団員の機動力強化策として予算づけがされたことは賛意を表したいと思います。また、第5次総合計画重点戦略では放課後子どもプランや生活困窮者自立支援、学校給食地産地消推進が新規に予算化されたことは評価されているものと考えますし、民生費はもちろん農林、商工といった経済活動への予算も配慮されていることに異論はありません。

私は細部審査において除雪の問題をたどたど

しくいただきましたが、要は、長井の盆地に降る雪は皆同じと受けとめられているようですが、町場と在郷では距離を迫うごとに雪の質も量も極端に違うという現場の声に市当局関係者は耳を傾けてほしいものです。

結びに老婆心ながら申し上げますが、観光交流センター整備に関する予算について、市長、副市長がみずからのけじめとして報酬カットの措置を講じられましたが、二度とあってはならないことです。肝に銘じてかじ取り役の務めを果たしてほしいと思います。間違いは改めるにはばかることなかれということわざがあります。苦渋の選択だったと思いますが、お互いに説明責任を果たしながら忍耐と寛容の精神で市民の負託に応えることこそ大切ではないでしょうか。今般のことについて、市長におかれては、長井の里を訪れる人、行き交う人に対し、おもてなしの発信拠点であることの証、これが長井の観光交流センターだ、見てくれと胸を張って市民に誇れるものを提案してほしいと思います。

以上の理由により平成27年度予算に対する賛成意見といたします。

○小関勝助議長 次に、議席番号8番、大道寺信議員。

(8番大道寺 信議員登壇)

○8番 大道寺 信議員 私は、議案第2号 平成27年度長井市一般会計予算について、反対の立場でご意見を申し上げます。

平成27年度一般会計予算では、歳入では、税制改正や評価がえに伴う法人市民税や固定資産税等の影響を考慮し、市税を大幅な減収と見込み、地方交付税についても堅実な計上としたこと等から財政調整基金繰入金4億2,900万円を計上したとなっています。また、公共施設整備基金も8,100万円の繰り入れが計上されています。歳出では、多くの項目で増加していますが、建設事業費は特殊要因があるとのことであり、これを除いた人件費、扶助費、公債費、維持補

修費、補助費等、多くの項目で増加し、中でも経常経費が増加をしています。市民からの要望も最大限考慮したものと説明がありましたが、これは歳入に見合った歳出規模ではないと言えます。市民の要望に応えたいとの考えに異論はありませんが、長井市の財政は依然として全ての要望に応えられる状況ではないことを示しているとも言えます。特に経常経費の増加は平成27年度単年度だけではなく今後も継続するものも多くあり、来年度以降の財政運営も厳しい状況になっていくものと思われま

す。また、今後の財政状況の展望では、税収の横ばいあるいは減少傾向が続くと見込まれ、地方交付税の不安定さも懸念される、歳出においては扶助費や公共施設等の維持更新による投資的経費の増加が懸念されると言われています。さらに、平成27年度予算方針では、社会保障関係経費の増嵩、都市基盤整備、老朽化した公共施設への対応等、多額の財政需要が想定される中で、一般財源の増加が見込めないこと等から、慎重な財政運営が必要不可欠と述べています。そのとおりであり、加えて人口減少に伴う財源の減少、国が1,000兆を超える借金を抱え、目標とする2020年にプライマリーバランス、基礎的財政収支の黒字化は困難との見方も出ていること等もあり、交付税や補助金等の見通しも厳しいことから、財政運営はより一層慎重に進めていくべきであります。

そういった視点から、平成27年度予算において財政調整基金を取り崩し繰り入れすることは問題があると言わざるを得ません。単年度の事業でどうしても必要なものであれば理解できますが、むしろ老朽化した公共施設の整備を控え、今後その財源を考えなければならぬときでもあることから、その財源の一つとして必要と思われる基金はできるだけ取り崩さず、現状の財政実態と今後の見通しを踏まえ、それに見合った事業を選択、査定して編成すべきであった

のではないかと考えます。

また、観光交流センターにかかわる予算において2億7,051万5,000円が計上されています。今議会でも議論がされたところではありますが、この施設はあくまでも観光交流の拠点であり、一般的な道の駅とは異なり、もうかる施設とも異なるとの話がされました。しかし、この約3年間での議会での説明、議論、あるいは市報や「あやめれば」等での説明内容から、一般市民も一般的に言われている道の駅であるとの理解が浸透していると思います。議会での質疑でも、農家レストランや農産物の加工場等が検討の中にあるとの内容でしたので、その内容で議論されてきたことからすれば、そう思われても仕方がないのではないかと思います。このことから、市民に再度十分な説明を行った上で事業を進めていくべきであると考えるところであります。

以上のことから、第2号議案 平成27年度一般会計予算に反対するものであります。

○小関勝助議長 通告による討論が終わりました。

これから採決いたします。

議案第2号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○小関勝助議長 起立多数であります。

よって、議案第2号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第37、議案第3号 平成27年度長井市国民健康保険特別会計予算の1件について、討論の通告がありますので、発言を許可します。

議席番号4番、今泉春江議員。

(4番今泉春江議員登壇)

○4番 今泉春江議員 議案第3号 平成27年度長井市国民健康保険特別会計予算に反対いたします。

国民健康保険の加入者は7割以上が失業者、

非正規労働者、年金生活者などで、ほかの健康保険などに比べても所得の低い人が加入しています。企業などの事業主負担もありません。このため国が5割を負担することになっていますが、国は1984年から2012年度の28年間で市町村国保の総収入に占める国庫支出金の割合を50%から23%に半減させました。その結果として、加入者に高過ぎる国保税が押しつけられていることが大きな問題となっています。

長井市でもこの高過ぎる国保税のため滞納者が出ており、そこで多くの差し押さえが行われております。長井市では、国民健康保険税の滞納者が平成25年に滞納繰り越し分を入れると552人、滞納額は1億8,871万8,805円、そして国民健康保険税の差し押さえ件数は480件、金額2,074万5,901円となっています。また、その中で2014年9月1日現在、国保税滞納世帯への保険証の取り上げによる資格証明書発行が145件、有効期間の短い短期証を375件発行しています。これは県内でも特に多いものとなっております。これは命と健康にかかわる大問題です。そのためにも一般会計から国保会計への独自繰り入れを実施し、国保税の引き下げをなさるべきです。また、低所得者への減免などにも力を入れる必要があるのではないのでしょうか。

このたびの観光交流センターの追加予算1億8,000万円あれば、国保加入者1人当たり3万円近く引き下げられます。私は引き下げを何度も要望いたしてまいりましたが、そのことがこのたびのこの予算に反映されておられません。

以上の意見を申し上げ、反対といたします。

○小関勝助議長 通告による討論が終わりました。

これから採決いたします。

議案第3号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○小関勝助議長 起立多数であります。

よって、議案第3号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第38、議案第4号 平成27年度長井市公共下水道事業特別会計予算から日程第46、議案第12号 平成27年度長井市水道事業会計予算までの9件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、順次採決いたします。

まず、日程第38、議案第4号 平成27年度長井市公共下水道事業特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第4号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第39、議案第5号 平成27年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第5号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第40、議案第6号 平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第6号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第41、議案第7号 平成27年度長井市訪問看護事業特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第7号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第42、議案第8号 平成27年度長井市介護保険特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第8号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第43、議案第9号 平成27年度長井市浄化槽事業特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第9号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第44、議案第10号 平成27年度長井市後期高齢者医療特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第10号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第45、議案第11号 平成27年度長

井市宅地開発事業特別会計予算の1件について、
予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の
議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第11号は、予算特別委員長報告
のとおり決定いたしました。

次に、日程第46、議案第12号 平成27年度長
井市水道事業会計予算の1件について、予算特
別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の
議員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関勝助議長 起立全員であります。

よって、議案第12号は、予算特別委員長報告
のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○小関勝助議長 お諮りいたします。これから上
程いたします議案は、委員会付託を省略し、全
員でご審議願いたいと思いますが、これにご異
議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小関勝助議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第47 議案第58号 平成2
6年度長井市一般会計補正予算第1
4号

日程第48 議案第59号 平成2
7年度長井市一般会計補正予算第1
号

○小関勝助議長 それでは、日程第47、議案第58
号 平成26年度長井市一般会計補正予算第14号
及び日程第48、議案第59号 平成27年度長井市
一般会計補正予算第1号の2件を一括議題とい
たします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第58号 平成26年度長井市
一般会計補正予算第14号についてご説明申し上
げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、
予算の総額に2億2,728万3,000円を追加いたし
まして、予算の総額を歳入歳出それぞれ135億
8,179万7,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、地域住民生活等緊急支援
交付金に係る計画事業費1億783万7,000円を計
上し、全額明許繰り越しするとともに、ふるさと
納税事業5,428万8,000円、道路除雪事業
6,515万8,000円を追加するもので、これらの財
源としまして、普通交付税523万9,000円、地域
活性化・地域住民生活等緊急支援交付金1億
454万1,000円、ふるさと応援寄附金5,370万円、
平成25年度置賜広域病院組合負担金精算金
6,380万3,000円を充てるものでございます。

第2条の繰越明許費につきましては、第2表
のとおり定めるものでございます。

次に、議案第59号 平成27年度長井市一般会
計補正予算第1号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、
予算の総額に2,159万1,000円を追加いたしまし
て、予算の総額を歳入歳出それぞれ132億7,559
万1,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、地域住民生活等緊急支援
交付金に係る計画申請対象事業について、国の
審査に伴い対象外となった3事業に要する経費
3,449万8,000円を改めて平成27年度予算に計上